

この世の中では、好き嫌いしている人がたくさんいる。でもその中では、食べ物を食べるのに、満足できない人もたくさんいる。どうして同じ地球に住んでいるのに、食べ物で大きな差がつかってしまうのだろうか。そして私たちは、どのような活動をしたら、飢餓に苦しむ人が少なくなるのだろうか。

飢餓とは、十分な食べ物を食べられずに、栄養不足になり、健康を保つことができなくなった状態をいうそう。

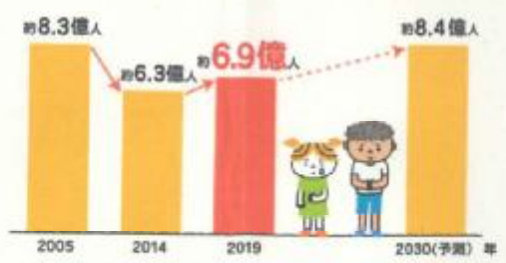
「世界の栄養不良の人々」によると、世界では約6.9億人が飢餓に苦しんでいる。世界の人口の11人に1人の割合で、飢餓に苦しむ人の多くは、途上国の農村部だと住む人たちがわかる。

なぜ農村部に住む人々の一部が飢餓に苦しまないといけないのだろうか。そして、飢餓はどうして起こるのだろうか。

飢餓の1つは、自然災害によるもので、気候変動が大きく関わっている。台風や集中豪雨、森林火災など、多くの人に影響を与えているようだ。

途上国の人たちには、気候にたえる対策が必要だと思う。例えば、田畑を守るためにビニールハウスを設置したり、植物を育てる人の人数を増やしたり考えれば、

世界の栄養不良の人々



● 「The State of Food Security and Nutrition in the World 2020」より作成

対策でできることはたくさんある。そしてその考えを一部だけでなくたくさん地域で広めてほしい。

確かにビートルハウスを立てるとするとたくさん費用がかかり、またちかう問題が出てしまうかもしれない。しかし、そういう話をして何年も苦しいまましていると何かわからないのではないか。だから少しでも飢餓で苦しむ人が減るようには、対策できることを考え、少しずつ未来を変えていきたい。

〈出典〉

「EDU TOW R S D G S 世界の国や地域が協力して持続可能な開発を目指す」

S D G S 東京書籍